



現代のまちづくりの潮流は、単なる効率性、利便性の追求から、うるおいや、やすらぎなどといった感性が重要視されているといえます。

本市は、東部丘陵地の豊かな緑や本場潟の水面に浮かぶ霊峰白山、また、海岸線に広がる黒松林や日本海に沈む夕日など豊かな自然景観を有しています。また、一方では、本市の中心市街地において行われています都市基盤整備を契機として、新しいこまつの顔が作られつつあります。

このような中、本市の都市景観の向上と市民の皆様のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として、今年度から「こまつまちなみ景観賞」を創設いたしました。はじめての試みながら、60点近くのご応募があり、ここに、市民の皆様のまちづくりに対するご貢献の一端を、ご紹介申し上げる次第です。

今後とも、この賞がより一層親しみやすいものとなるよう市民の皆様と育てながら、小松らしい魅力と潤いのあるまちづくりに努力をしてまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、審査をお願いしました小松市景観(まちづくり)検討委員会委員の皆様にも、深く感謝の意を表します。

小松市長 西村 徹

趣 旨

日ごろ何気なく眺めている街の風景。ちょっと目を凝らして見れば「ステキだな」と感じる街並みやオープンスペースなどに不思議と潤いと安らぎを覚えるものです。

「こまつまちなみ景観賞」はまちづくりの取組みとして、さらに都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として、小松の自然、風土に調和し優れた都市景観づくりに貢献している建築物等を選び、それに携わった人たちを顕賞するものです。



三代 浅蔵五十吉作

表彰銘板

九谷窯元工業協同組合のご協力をいただき、三代浅蔵五十吉さんによる「九谷焼の銘板」を作製しました。この銘板は、今回選ばれた場所を顕彰するため、施主の方に贈呈されます。